

# S Y Dかわらばん

＜最新活動情報 No.159＞ 2022年1月21日号

## かわらばん特別企画「修養団と私」

お陰様で今年の2月11日に創立116周年を迎える修養団。その歴史を支えてきたみなさまのお力なくして今日の修養団はありません。また“人に歴史あり”といいますが、「修養団と私」というテーマで毎月お一方に特別寄稿いただくことで、組織間交流のきっかけに、また運動推進の原動力になればと、今月号よりスタートいたします。



### 福島県連合会 事務局長 三瓶利正

私が修養団にお世話になりましたのは、1962年(昭和37)夏のことでした。

中学校2年、担任の遠藤甲子男先生が団員でしたので、夏休みクラ

ス全員で町の施設を借りて、一泊研修会が行われました。以後研修会には、遠藤俊夫先生・松川富保先生・坂本大生先生に来ていただきました。以来今年で60年お世話になることになります。写真は、1964年高校2年の夏「全国国土美化キャラバン」があり、蓮沼力太郎先生(2代目主幹)と五色沼(裏磐梯)でのスナップです。



【上列中央が本人、下列右端が力太郎主幹】

高校卒業して群馬に就職した折は、7年ほど離れましたが、農家の長男で後を継ぐため1973年に三菱電機に入社しました。地元に戻ると遠藤甲子男先生から、修養団活動の指示が多くなり、その後福島県連合会青年部長として活動させていただくことになりました。武田さん(現伊勢青少年研修センター所長)との活動や、埼玉県から会津キャラバンにいられた青木さん(元常務理事)、根岸さん(現専務理事)にお会いしたことが懐かしく思い出されます。当時福島県の青年部は、みどり幼稚園を拠点に活動しており、自然の家一泊研修、桧原湖畔キャンプ等々、現在も継続されていることに偉大さを感じている所です。

25歳で入社した三菱電機に於いては、全ての進め方を「修養団的ところ」で進めてきました。現場の運営、技術開発、品質問題の解決、組織改編、人材育成等々全てが「修養団的ところ」が背景にありました。また「修養団的ところ」は、出会いを作り

その出会いが人生を大きく変えることになりました。今でも思い出しますのは、研修の最後のとしびの集いでローソクを紙に巻いて遠藤俊夫先生が、道のひかり第一章「明魂」を朗読されると、涙が止まらなかったことを記憶しています。

第一章 明魂  
月歪むにあらず波騒ぐなり。止水に映る月を見よ。波立つ心に  
映る萬象は真の相を現わさず。日暗むにあらず雲かかるとなり。  
雲去ればまた輝く。暗き魂を通して眺むる世界は暗黒なり。静  
かなる心には、一本一草も仏の姿を現わし、明るき魂には、行  
雲流水も神の妙工を啓示すなり。悟れる者の生涯には、怨もな  
く呪もなく、すべてを感謝し常に喜び絶えず祈る。花は情なく  
開けども、月は心なく照らせども、涙に仰げば月も泣き、笑  
て見れば花も微笑む。迷える者よ。父を怨むな兄を呪うな。妻を  
責むるな子を罵るな。人を審判く眼を転じておのが魂を凝視め  
よ。一切の怨一切の呪は、おのが暗き魂の中にぞ芽生ゆる。朝  
に祈りて罪を悔い、夕に祈りて穢を潔めよ。かくて本性に帰り  
明魂を現わし、愛と汗との行者となりて光の中を歩む時、明  
き世界はその脚下より展開せられん。  
われもまた神の御子ぞと知りてより  
よろこび絶えぬ身とはなりけり

現在74歳で新事業を起こし世のため人のために働けることが最上の喜びです。その過程において、新型コロナなどの予測しがたい苦難に遭遇することになりますが、修養団創立116年あらゆる苦難を乗り越え今があるように、乗り越えられない苦難はないように思います。人間力低下が叫ばれている現在、経済は心の教育の結果の現れと考えることが必要かと思います。何事も心が先行しどのような心で実践しているかで結果が決まる。

創設者蓮沼門三初代主幹はじめ、これまで支えてくれた方々への恩返しを、修養団普及活動を通じておこないたいと思います。地域を良くし、日本を良くすることで、結果、まだ見ぬ子々孫々を別の世界から微笑みながら見ることができれば、この世の使命が達成できたかと考えております。皆様のご指導を頂きながら世のため人のために活躍したいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。感謝！

### 三瓶 利正さんへ《質問コーナー》

#### ① 好きな言葉 →道のひかり第一章「明魂」

※明魂より一部抜粋

…波立つ心に映る万象は真の相を現わさず…

…愛と汗との行者となりて光の中を歩む時、明るき世界はその脚下より展開せられん…

人生(経営)は、先の見えない道にあることですが、生き方は、足元にあることを教えてくれている。特に一木一草に心傾ける。凄い！

#### ② 私のおすすめの本 →「大河の一滴」(五木寛之)

弟が会社の保証人になり数億の借金を背負い救いの手を求めてきたが、そのころ私には肺に5cmの腫瘍があることが分かり、お金のことは妻に言えず、手元にあったこの本を送ったことで、弟は再起し今がある。

#### ③ 好きな食べ物 →鮭・果物

#### ④ 趣味 →ゴルフ(仲間でコンペを年3回40年開催継続)

#### ⑤ 最近ハマっている、また始めようとしていること →魂の大きさと波動(遠赤外線)の魅力

#### ⑥ 夢(子どもの頃と現在)

子どもの頃→阿武隈川の流れの先に安達太良山が見える丘に研究所をつくること。

現在→令和3年「株式会社三瓶利正総合技術研究所」設立、場所は東京。

#### ⑦ 会員の皆様へ一言メッセージ

生涯学び実践することで、魂の大きさが変わる。大きい魂は人を幸せにし、自らも幸せになる。この「修養団的こころ」を共に普及させましょう。

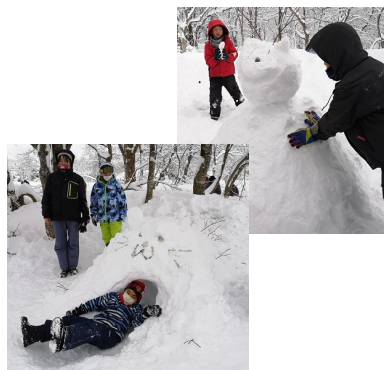
➡ご感想やメッセージなどありましたら、ぜひSYD社会教育部までご連絡下さい。

### 12/26～30…第1回「子ども自然体験スキーキャンプ」39人

[福島県北塩原村・ばんだいふれあいびあ、裏磐梯スキー場]《高橋源一郎、板倉和也、谷野渉、増田航介、鈴木綾》



2年ぶりのスキーキャンプは新型コロナウイルス感染対策を行いながらの開催。ずっと参加を心待ちにしていた子どもたちは、-11℃の極寒の中、元気いっぱい雪上レクリエーションや雪像作りを楽しんだ。



アルペンスキーでは初心者も全員滑れるようになった。参加したリーダーのうち半数は、前回までは、キャンパー(参加者)だった青年たち。今回、憧れていたリーダーとなり、一生懸命子どもたちと接し、温かい雰囲気にあふれるキャンプとなった。

[illegible]

## 予 定

## 2/4…「オンライン青年ボランティアゼミナール」

《毛利大介》

今回はボイストレーナーとして、声を通して人生を輝かせる、自信のない人をゼロにしたいと、声に悩む人々の指導している、毛利大介さんによる講演です。

2/6…第2回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会」二度とない人生だから」〔東京都渋谷区・SYD中会議室〕《板倉和也》

## ★みがく講習会〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕

2/1～4…第1219回

## ★みがく特別講習会〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕

2/12～13…第1回

2/19～20…第2回

2/26～27…第3回

## 会員組織の主な動き

## 報 告

12/19～20…修養団伊勢いなほの会「辻幹雄さん11弦ギターコンサート」31人〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕



今回初めて昼間におこなわれ、例年とは違った雰囲気での公演となった。夜には懇親会をおこない親睦を深め、翌日は御垣内参拝と御神楽奉納をおこない、今年一年のすべての行事を取りおさめました。



## 予 定

2/11…修養団関東地区連合会「修養団創立16周年を祝う集い」〔東京都・SYDホール〕

2/23…皇居参賀の集い実行委員会「皇居参賀の集い」〔東京都千代田区・皇居〕

## 情報あれこれ

おめでとうございます

## 令和3年度 修養団功労者表彰 受賞者

(敬称略・順不同)

## 【名誉団員】

福島県 佐原 元(追贈)  
東京都 漆原 幸保  
香川県 多田 勲

## 【特別表彰・蓮沼賞】

埼玉県 笠原 則夫  
新潟県 川崎 幹彦  
香川県 永山 淑

## 【個人表彰】

埼玉県 今村 忠明、中嶋 タニノ  
新潟県 川島 誠(追贈)  
香川県 新名 節子  
香川県 三好 和子

## 【団体感謝状】

島根県 島根合板株式会社  
沖縄県 一般財団法人沖縄県青年会館

## 【個人感謝状】

東京都 春風亭ぴっかり☆  
愛知県 古橋 麻美  
京都府 内村 公一  
沖縄県 上原 誠

## &lt;発行・連絡先&gt;

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2  
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424  
E-mail: info@syd.or.jp  
ホームページ: https://syd.or.jp/

SYD

検索